やましろ日和

~宇治茶のある暮らし~

座談会 宇治茶のミライ









第2号 2023年11月





宇治茶がつなぐ地域の絆

宗円交遊庵 やんたん

ごあいさつ

こんにちは!

令和五年春に船出をしま

『やましろ日和(びより)

ています。

三年余りのコロナ禍の年月を

が「ツーリズム〉による課題・
が「ツーリズム〉による課題・
が「ツーリズム〉による課題・
が「ツーリズム〉による課題・
が「ツーリズム〉による課題・
にいます。





第二号です。

強化の一環として掲げてきまし庁は「生活文化の振興」を機能文化庁の京都移転に遡り、同立化庁の京都移転に遡り、同場しています。

す。とを願って、皆様にお届けしまた。本誌が、その一助となることを願って、皆様にお届けしまきして掲げてきまし強化の一環として掲げてきまし

宇治茶ブランド拡大協議会

もくじ





MINORI CAFE

KYOTO

JA全農京都がプロデュース。 四季折々の旬の果実や宇治茶を使ったスイーツやドリンクを お楽しみ頂けます。 テイクアウトではお土産にぴったりなスイーツを販売しています!





みのりカフェ京都ポルタ店 OPEN 11:00 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

京都ポルタ駅前地下街西エリア内 TEL 075-344-2881

京都市下京区東塩小路町 902 番地 〒600-8216



と共に歩んできた山城地域の皆ありません。長い年月を宇治茶本誌は、観光客向けの冊子では

3

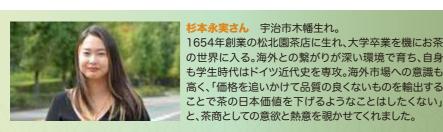


関係性から座談会はスタート。日々の ご歓談いただきました。 「宇治茶のミライ」をテーマに、自由に も異なる三名の女性にお声掛けをし、 先ずは、お三方の宇治茶との関わり・

地域を元気にするヒントが見え隠れし た・考えている〈宇治茶への思い〉には、 暮らしを通して、それぞれに感じてき 画の第二弾として、今回は立場も視点 創刊号で大きな反響があった巻頭企

宇治茶と 私

えじゃないねん。」と子ども心に思いました と!」って一言。「うーん。多分そういう答 に「何が一番大変?」と尋ねたら「売るこ 存じなかったと思います。帰宅してから祖父 きてください」と言われました。先生はおそ わる家庭の子が三人いたんですが、先生に、 機会がありました。当時クラスに、 で「地場産業としての宇治茶」について学ぶ 杉本永実さん:小学校の三、四年の時、授業 「おうちの方に゛一番大変なこと』を聞いて お茶の世界が分業制だということをご お茶に関



機会もぐんと増えました。

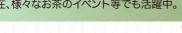
細井紅美さん静岡県出身。

江崎洋子さん 岐阜県出身。

影に訪れた時にまでさかのぼるそうです。

京都文教大学・短期大学 社会連携部フィールドリサー チオフィス勤務。「宇治川の鵜飼」の女性鵜匠の1人とい う面も持ち、観光産業の面からも心強い地域の応援団。 意外にも、宇治茶とのファーストコンタクトは、以前、写真 家のアシスタントをしていた時、某老舗お茶屋さんの撮

和束町でお茶とブルーベリーの生産を手がける。 嫁いできたとき、平らな牧之原台地と違う和束町の茶 園の風景に、思わず「うちの茶園はどこ?」と思ったそう です。子育てもひと段落し、コロナ禍を経て改めてお茶 の勉強に取り組み、日本茶インストラクターの資格を 取得。現在、様々なお茶のイベント等でも活躍中。



細井紅美さん:私は静岡出身。と言っても、

て売る茶問屋」の視点ですよね。

がよくわかるんです。これは「お茶を仕入れ

今になってみると、祖父の言葉の意味

五十音順

定、発表すると微妙な顔をされました(笑)。 変さを先生は聞きたかったのでは?と。案の (笑)。きっと、茶農家さんの生産や製造の大

ています。その活動を通して、宇治茶を飲む 茶レンジャー」というチーム(団体)があ サポートをしています。その中で、 が地域と一緒に取り組むプロジェクト活動の ではないのですが、大学の職員として、学生 消費者です(笑)。お茶に直接関わついるわけ なりました。家族から反対されることもなく に来ていた夫と知り合い、京都に嫁ぐことに とても馴染みがあります。お茶の研修で静岡 すが、牧之原台地の広大な茶園の風景には、 お茶に関わる環境で育ったわけではないので 江﨑洋子さん:私の場合、お茶については、 され、和東町にやって来ました。 「ええやーん、京都!」という感じで送り出 地域のお茶屋さんには大変お世話になっ 「宇治☆



ナを経

新たに見えてきたことはありましたか? 未曾有の事態・状況の経験を通して、

活はストップし、プロジェクト活動が再開 の自主的な活動なので、学生のやる気が りません。「宇治☆茶レンジャー」は、学生 となっても中心となる三年生には経験があ 江崎:コロナは本当に大変でした。大学生 なければ続けられません。

> ますね。細井さんはいかがですか? たちで再開しました。 ゴードでやったり、出来ることを出来るか のスタンプラリーをデジタル化してQR 元の通りではありませんでしたが、お茶 ともやりたい」と続けることを望みまし た。これは、本当に嬉しかった。何もかも - 学生さんの情熱には、こちらも励まされ ところが‼嬉しいことに彼らは「是非

細井:私はコロナの少し前に体調を崩し え替え)を終えた、 手術前に、なんとかお茶の木の改植(植 て、手術をする事になったんです。その という感じでした。



がいよいよ収穫になるんです。コロナ禍 がありました。私自身も病気をしたこと は、夫が東京オリンピックの聖火ランナー よいよ収穫を迎えるんだなぁと…。 り越え、その間に育ったあの茶の木がい の資格を取りました。このようにして乗 をきっかけに、日本茶インストラクター 取材が入ったり、それなりに色々なこと をやったり、茶農家としてNHKの密着 その時に植えた「さみどり(※品種)」

ね。杉本さんはいかがでしょう? - 生産者ならではというエピソードです

6

品! 機能面だけをクローズアップして うになりましたが、やはりお茶は嗜好 逆に巣ごもり需要や健康志向の高まり の抽出物だけで」となってしまうのが怖い しまうと「じゃあ、テアニンやカフェイン 言えば、お茶の機能性が一層注目されるよ ことに増えました。健康志向の高まりと の注文がほとんど止まってしまい、もちろ 杉本:コロナ禍では、カフェ系の卸先から で、EC(電子商取引)や海外輸出は有難い ん弊社の百貨店の店舗も休業しました。

要性」が失くなってしまいます。

コロナを経て、ということで言うと、業

なと思います。そうなると「お茶である必

どのようにと考えていらっしゃいますか? ズバリ宇治茶の明るいミライのために、

帰って「急須でお茶を飲もうよ」となれば、 ちゃんと飲んだお茶が美味しくて、家に す。子ども達が大学生のお兄ちゃん・お姉 のが「宇治☆茶レンジャー」の想いなんで の時間。お茶は嗜好品であり、たのしみや 葉を買って、急須にぬるいお湯を注いで、 有ると思っています。正直、作法とかはよ コミュニケーションのもと!それを伝える 江崎:学生だからこそ出来る魅力発信が と」をすすめています。やはり面倒でも茶 くわからなくても、「急須で淹れて飲むこ しばらく待つ。その待っている時間がお話 やった!!* です。

7

少なくなっています。そうなるとティー 変わってくるのも面白い。ただ、お茶を贈 細井:ああ、心強いな!急須でも、ティ ことはしたくない、と強く思っています。 きなことを言うようですが、きちんとし 使うと、そこから負の連鎖が生れます。大 バックなんですが、品質の良くない茶葉を るときは「急須持つてる?」と確認しなけ はいいですし、急須によってお茶の出方が 杉本:急須は手がかかるけれど、コスパ ので、よろしくお願いします!!(笑) です。頑張っていいものを作っていきます もらえたら、生産者としては嬉しい限り い、お茶の品格を茶業界が下げるような たお茶を現代社会に沿った形で提供した ればいけないほど、急須を持っている人は バッグでも、茶葉の美味しさをたのしんで

あったので、二年ほど市場には行っていな 二、三人でした。コロナ禍は人数制限が

かったのですが、今年の市場に行くと女性

として市場に来ている女性は、私を含め 市場の入札に行っています。その時は茶商 の雰囲気が変われば」という父の考えで 界に入った年から「茶市場の『男性社会』

が増えていることに驚きました。

本日は有難うございました





宇治茶がつな

日本緑茶発祥の地

※「やんたん」は地元で慣れ親しんだ「湯屋谷」の呼称

遊庵やんたん」を訪ね、施設を支える地域 ら近い湯屋谷(ゆやだに)に在る「宗円交 永谷宗円(一六八〇~一七七八)の生家か る宇治田原町は、「日本緑茶発祥の地」と の皆さんの思いを伺いました。 しての歴史と伝統を大切に継承してきま した。そのシンボルである日本緑茶の祖・ 近年、ハ トの町として注目を集めてい

お話しいただけますか。 先ず、この交流拠点が誕生した経緯を

協賛金を集める母体となりました。 立ち上げたのが「永谷宗圓翁顕彰会」で、 ない。どうしたら救えるだろうかと考え 化が深刻な状態でしたが、補修のお金が 業の背景にありました。当時、生家の老朽 永谷宗円の生家の再生が、「やんたん」開 (谷村稔さん)日本緑茶製法の礎を築いた

今なら、クラウドファンディング?

地の茶業界からも、協賛金の申し出! 府の茶業界の皆様をはじめとする全国各 再生プロジェクト」の第1号。加えて、京都 (谷村)生家再生事業は、京都府の「地域力

> その盛り上がりのなかで生まれたのが この流れで、「地域でどのように運営して するような支援をいただき、見事に再建。 地域の皆様や宇治田原町からもびっくり 「宗円交遊庵やんたん」でした。 いくか」についてワークショップを実施し、

け継いでいき、運営は「あばんず」に任せ 役員として関わってきました。十月に会長 ただく。基盤は地域です。 発信し、宇治茶体験を通して楽しんでい 住民が理解し守っていく。そして町外にも 思いを、我々地域住民も共有しましたね。 に就任したばかり。初代会長の精神を受 (西田)私は「やんたん」ができた当初から (谷村) そう。緑茶発祥の地であることを (西田文也さん)谷村初代会長や顕彰会の

「おばんず」?

あばんの 手作り体型

て、ついていきます(笑)。

湯屋谷では「おばちゃん」のことを、親し キッチン」と名付けました(笑)。 みを込めて「あばん」と呼びます。複数の 「あばん」でやっていますから「あばんず (浅田八千代さん) (笑) 「あばんず」!





カフェコーナーは宇治茶カフェ認定の手作りの抹茶スィーツも楽しむことができ、ここでしか手に入らな いお茶の販売も。館内では宇治田原町の魅力を伝える動画を見ることもできます。

宗円交遊庵やんたん

〒610-0221 京都府綴喜郡宇治田原町湯屋谷尾華21番地 Tel. 0774-46-8864 営業時間:10:00~16:00(11月~2月) 10:00~17:00(3月~10月)

定休日:水曜·木曜·年末年始 取材日に対応いただいた皆さん(左から):高橋一樹さん、谷村稔さん、 西田文也さん、髙田美津子さん、谷口智代さん、青山喜代美さん、浅田八千代さん

茶銘江城 研製 ลกล้ากกล้ากกล้า 解某些新加州多小河 阿巴尼斯坦达亚纳巴多



ゃ

(写真左)江戸時代の 番付表。湯谷は宇治と 並ぶ銘茶の産地と評 されていた。

(写真右)湯屋谷がか つて豊かな温泉地で あり、湯屋がたくさん あったことがわかる古

カは、「やんたん」でも 見ることが出来ます。

地図。 上記2つの資料はどち らも髙田園蔵。レプリ

みから製茶までの流れとともに、美 にあかねだすき姿の女性を踊り手とし、茶摘 させた踊りで、姉さんかぶり、かすりの着物 治田原村が村民からアイディアを募って完成 宇治田原郷茶音頭は、昭和二十年代に旧宇 しい自然

披露されまし 高まっており、昨年の「全国お茶まつり」でも り、茶音頭を保存・伝承しようとする機運が 中心とした「宇治田原郷茶音頭伝承会」によ りの伝承が危ぶまれる中、町内の女性有志を したが、徐々に踊られる機会が減っていき、踊 (取材協力:宇治田原町)



「お茶の心・文化を継承していく ことは、もてなしの心・文化を継 承していくということ。大切にし ていきたいと思っています。」

> ※(くり かえし)

<<中略>>>

煎茶本場の 煎茶本場の 田原の道や奥田 ドッコイ 茶祖は永谷 レ七ひかり

※(くりかえし)

<<以降略 九番まで>> 1738やんたん里づくり会



右・浅田八千代さん 左・髙田美津子さん あばんずキッチン リーダーのお二人

とき、「どんな食事を出すか」を話し合った

(髙田美津子さん) この施設を立ち上げた

出ししています。

も湯屋谷の郷土料理で、夏にこちらでお になってしまう。同じように「鰻の茶づけ」 きっとそのうち茶汁を知らない人ばかり

持ってきた味噌や鰹、そこに生えているセ

りで父親が番茶を沸かし、母親が家から 茶畑で作業をしているときは、川のほと 茶を持っていくと、製茶してくれました。 同茶工場(※「やんたん」の元の建物)にお

リ、三つ葉などを入れ、熱い番茶をぶっか

けました。これが茶汁ー

なりました。地元の食材を使い、構成も地 結果、「茶汁をグレードアップする」ことに

す。茶汁で使う味噌や蒟蒻も、私たちのお 域色を意識し、季節感も大切にしていま

どうぞ、ご家族でお越しください

なく、「歴史と文化に裏打ちされた宇治茶

宇治茶カフェ認定店です。スィーツだけで

(谷村)私ども「宗円交遊庵や

んた

ん」は

の美味しさ」も充分に味わって頂けます。



初代会長 谷村稔さん (永谷宗圓翁顕彰会事務局長)



会長 西田文也さん

茶を揉むことができないので、地域の共

ている人がほとんど。小さな茶園ではお

一昔前の地元では、田んぼと茶畑を持つ

この10月に会長就任

てもヘルシー

な食べ物。このあたりの郷十

味しかったです。

今日は「茶汁」を頂きました。とても美

(浅田)美味しいだけでなく、「茶汁」はと

慣れ親しんで食べてきました。毎日のおつ

ゆの感覚。

食で、こどもでも作れます。

幼いころから

宇治田原郷『茶音頭』を

人情が表現されています。

当時は村の催しなどで盛んに踊られていま

田原

山岸貞一作曲(近藤亜紀 編曲) 岩手壽恵 振付

ツレ お茶日和 等れて消えて ドッコイシ 薄れて消えて ドッコイシ | 宇治の田原郷|

、 ヨイトサノサ トコチャラリ-アリャセノ

*

ソレ 茶摘み歌 川のあなたは 川のあなた 川のあなたは 川のあなた 川のあなたは

いろどり ↑写真は「彩の茶汁セット」1,000円(土日祝のみ)。 茶汁は文化庁事業の「100年フード」に認定され ており、「茶汁セット」600円は常時いただけます。

宇治 郷茶音頭

鷲峯(じゅぶ)のエ

手製なんですよ

(浅田)いまここで茶汁をやらなけれ

ば









端

ちまき

ひちぎり











花びら餅



五節句文化アカデミア GOSEKKU-CULTURA ACADEMIA

京都府茶業会館

宇治茶道場「匠の館」の隣り

宇治茶の振興に寄与するイベントや各種 催しをはじめ、宇治茶に関する伝統・文 化等の高揚に繋がる各種の取組等に活用 いただけるよう、会館施設の貸し出しを 行っています。

詳細はお問い合わせください。



1階 第1研修室



2階 第3研修室



2階 板の間・和室

宇治市宇治又振17番1 **20774-23-0888** 京阪宇治駅より徒歩3分 / JR宇治駅より徒歩15分

イベント報告

宇治茶のある暮らし

七夕に寄せて

令和5年8月5日·6日 in 京都府茶業会館

主催: 宇治茶ブランド拡大協議会 共催: 五節句文化アカデミア

わかるパネルに加えて、 有の古い道具の展示や

ご来場ありがとうございました

軽にご参加いただけるイベント等の出 作って笹に飾る体験教室や、 アオ上映等が行われました。 る体験コーナーや、 料館の協力による茶摘み風景のパネル 当協議会は、 共催の「五節句文化アカデミア」の 今後も地域の皆様に気 当協議会制作のビ 「宇治茶で

宇治市歴史資 製茶の工程が





▲ 資料展示コーナー▲



の配布も予定してお

▶「製茶図(レプリカ

·京都府茶業会議所 蔵)」も展示され、そ

の中に描かれている

お茶の道具も展示

されました。

▲テーブルコーディネート



▲抹茶アート



▲皆さんが吊るしてくださった短 冊は、9月26日に清水寺にてお焚 き上げされました。 願いが叶いますように!

気象データの提供について

クセス情報をお渡ししています。

閲覧でき、生産者をはじめとする宇治茶業界の方にア

す。計測されたデータはパソコンやスマー

トフォンから

要素の気象データを計測してデータを蓄積していま

に「気象観測装置」を設置し、外気温、降水量、など十二 年度、二〇一五年の三月より、京都府山城地域内の茶園

編集後記

:吉田利一 :原田和也

戸塚浩司

高木啓暢 モナト古閑久美子

宇佐美直八

㈱業態開発総合研究所

ujicha@gfkyoto.jp

宇治茶ブランド拡大協議会

<編集部>

お問合せ

宇治茶ブランド拡大協議会では、発足した平成二六

宇治茶の明るい未来にお役立てください

観測機は、少しずつ増設し、現在までに十四台設置し

います。 ました。ここで集められたデータは、気候変動の状況の 把握や宇治茶の生産力向上に役立てることを目指して

等に使用する目的の方に提供しています。詳細は、QR コード↓のリンク先でご確認ください 当協会では、蓄積されたデータを、宇治茶の生育研究

指しています。 楽しんでいただく

聞かせ願います。

でましろ日和」編集部

御一読いただき、どうぞ、ご意見やご感想をお

治茶を基軸におき、〈宇治茶のある暮らし〉を

一助となるような内容を目

本誌は、山城地域と深い繋がり・縁をもつ宇

第二号(令和五年秋冬号)をお届け致します。

して、昨年度にスタート

した『やましろ日和

宇治茶ブランド拡大協議会の新たな取組と

宇治茶にまつわる古い記憶を再現



て、宇治茶の文化の継承を目指し



↑「天皇·皇后両陛下行幸啓記念(平成3年5月26日)」 (京都府茶協同組合)



↑「おいしいお茶でケンコー家族」 (京都府茶業会議所)

「宇治茶」の歴史と記憶を 次世代へ

宇治茶の文化を次世代へとつな 料、カセットテープなどを、触れ ぐために、様々な古い写真や資 先人たちが大切に守ってきた

に、デジタル化する事業を通

までご連絡ください! 籍・写真・絵葉書等)がござ くなった古い宇治茶資料 皆様のご家庭に、 ぜひ、 当協議会 書

掘り起こしと、 宇治茶にまつわる古い記憶の 山城地域に眠る 保 存、 活用に

デジタル化作品の一例





15





新宇治茶ブランド拡大協議会 UJI-CHA BRANDING ASSOCIATION

構成団体 公益社団法人京都府茶業会議所,京都府茶生産協議会,京都府茶協同組合,京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所,宇治市産業観光部農林茶業課,全国農業協同組合連合会京都府本部農畜産部茶業市場課,京都府山城北農業改良普及センター,京都府山城南農業改良普及センター, JA京都やましろ,特定非営利活動法人京都・地球みらい機構

事 務 局 京都府茶協同組合 〒611-0021 京都府宇治市宇治折居25番 Tel: 0774-23-7711 ujicha@gfkyoto.jp

この冊子は「令和5年度京都府地域交響プロジェクト交付金」により制作されました。(2023年11月)